

## 第2章

### 活動計画の進行管理・評価

#### 第1節 進行管理・評価について

- 本活動計画の進行管理・評価は、社会福祉協議会にて行います。項目ごとに年度目標を立て、事業振り返りによる自己評価等を実施します。また、市民からの声や社会福祉協議会内部の評価結果をもとに、計画の進行管理と評価を行い、また必要に応じて見直し、次年度以降の事業推進に反映します。

#### 施策の方向性

一人ひとりがつながり支え合うことのできる人づくり

	具体的な施策／年度	2018	2019	2020	2021	2022
地域福祉教育の推進	福祉の心を育む地域福祉教育推進プログラムの充実を図ります。	プログラムの推進	→	活動見直し	プログラムの推進	→
		新プログラムの開発	→	コミュニティスクールとの連動	→	→
	多様性を理解し合えるための交流を育みます。	新プログラムの開発	→	新プログラムの実施	→	→
			イベントや体験学習の開催	→		→
担い手づくり 福祉活動の	地域ニーズに応じた福祉活動の担い手を増やします。	講座開催	→	→	→	→
		結成支援	→	→	→	→
	地域で活動しやすい環境をつくります。	活動支援	→	→	→	→
			交流会の開催	→	→	→
ネットワークの強化 助け合い	見守りと支え合いの輪を地域に広がります。	研修会の開催	→	→	→	→
			活動調査	支え合いマップの作成支援	→	見守り活動への展開
	災害ボランティアサポートスタッフの活躍の場を広げます。	研修会の開催	→	→	→	→
		活動サポート	→	→	→	→

**施策の方向性**

誰もが「役割」と「出番」のある場づくり

	具体的な施策／年度	2018	2019	2020	2021	2022
居場所地域に根ざした事業の展開	宅老所、サロン活動の立ち上げや活動支援を充実させます。	活動調査 活動支援 情報発信	交流会の開催			
	子どもの居場所づくり事業を充実させます。	活動調査 情報発信	フードバンク事業の検討 研修会の実施	フードバンク事業の実施		
社会参加のための場づくり	フリースペースを通じた交流の機会を育みます。	ニーズ調査 情報発信		交流会の開催		
	体験の機会を通じた社会参加を支援します。	既存ボランティア団体との連携	先進地視察	モデル事業の展開		事業展開
新たな住民層の参加拡大	幅広い世代の人たちが参加しやすい地域づくりに取り組みます。	情報発信		活動見直し	情報発信 活動強化	

**施策の方向性**

地域の福祉活動を活性化するネットワークづくり

	具体的な施策／年度	2018	2019	2020	2021	2022
地域しきくみづくりを確保する	企業と地域がつながるしくみを構築します。	情報発信	活動調査	情報掲示板の検討・設置		
	赤い羽根共同募金を活用した助成活動の充実を図ります。	広報見直し	ニーズ調査 テーマ型募金運動の検討	モデル事業実施	テーマ型募金実施	
多様なニーズに対応するネットワークづくり	社会福祉法人の地域貢献を広げます。		広報強化 活動調査	検討会の場づくり	活動マッチング検討	活動マッチング